

ワールドカフェの各テーブルで出された意見について(広報広聴委員会まとめ)

○開催日:令和元年5月21日・22日

○ワールドカフェのテーマ:「地域でささえる子育てについて」

○各委員会で討論が必要と思われる課題

| 担当常任委員会 | 要旨 | 意見交換会で出された意見 |
|-----------|---------------------|---|
| 総務教育常任委員会 | 不登校の子ども達への理解・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童のために学童保育空き施設の開放。 ・不登校の子どもの環境について理解を深める。 ・不登校の子どもの居場所(フリースペース)などをつくり、学習支援、体験活動ができるようにしてほしい。 ・不登校に対する地域の無知偏見による孤立家庭の増加対応(世代間の分離、情報不足もあり孤立が進んでいる。) |
| | 保育士の確保・保育士への支援について | <ul style="list-style-type: none"> ・保育事業に無料化よりも保育士の応援(待遇等) ・待機児童問題・・・保育料の無料化は良いが、子育ての放棄につながるのではないか。 |
| | 通学路 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全、見守り ・スクールガードの充実・・・神照学区は7,000世帯・人口2万人、急激な人口増地域で登下校時の不安はある。 |
| 健康福祉常任委員会 | 学童の指導員の確保・待遇改善等について | <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の居場所の確保(小中一貫校の影響などから教室等のスペースが不足している。居場所設置基準も厳しく小屋では不可。夏休み対応が心配←北部地区) ・指導員の人材確保・育成(スタッフ・指導員等業務がハードでシルバー世代では対応困難。成り手がなく不足状態)。待遇改善が望まれる。 |
| | 各子育て支援団体へのサポート等 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援団体への公的補助には限界があり、一般企業民間団体からの支援が欲しい(小規模団体には企業等とのマッチング手法がなく、中間的サポート機能の設立) ・子育て支援団体の活動継続には資金が必要で、公的支援をお願いするとともに、運営方法の交流等アドバイスがほしい。 ・子どもたちの居場所づくりの活動資金が不足している。助成をしていただける方法を探っている。 ・子ども食堂の継続の問題・・・県からの補助金がなくなった影響で、地域づくり協議会が担っている。現在は、維持できているが、将来の後継者不足に不安がある。今後も、民生児童委員や、地域づくり協議会で維持。係るボランティアの支援の充実。 ・発達しょうがいについて・・・発達しょうがいの家族で7年ぐらい活動をしているが、グループで約100人ぐらいいる。月1回集まっているが、場所、資金不足に困っている。組織を大きくすることにより、活動資金が得やすくなるのではないか。 |

○その他の意見(各議員へ情報提供)

| 要旨 | 意見交換会で出された意見 |
|----------|--|
| 幼保こども園関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園、保育園と幼稚園の需要と供給のミスマッチ。 ・認定こども園、保育園と幼稚園の先生の在任期間が短い。 |
| 外国籍の子ども | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の子どもが、事前に日本の風土や環境を学習する機会があると良い。 ・多文化共生社会に対する理解の低さが、いじめ等につながらない様に。 |
| 子育て支援団体等 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの居場所づくりが大切。 ・子育ての仕方がわからない。 ・人材不足・資金不足。 ・参加できる子はいいが、参加したくてもできない子をいかに参加させるか。 ・運営者を支える仕組みの構築。 ・組織として活動するときは、ルール作りは必要である。 ・大人がお膳立てしすぎず、子どもの主体性に任せたい。 ・ボランティア、スタッフが集まらない。(活動者を支える仕組み・後継者の育成・ボランティア育成講座・補助金・市独自で保育士さんの待遇改善) |
| 子育て環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・特に新興団地家庭の就学前児童・乳児の存在状況が不明のため、地域全体で支える子育てが必要(児童委員は存在承知) ・家庭等での子育てにスマホなど映像機器の利用が拡大しており、人が直接関わる子育て環境の重視必要(子どもと本との繋がりを重視し、お話しサポートの活用を。お話し会の様子を見てほしい。金銭的子育て支援の充実は人による子育ての弊害にも繋がるかもとの懸念意見も) ・大人とのふれあいの場(家庭での親子の遊びにつながればいい・子どもにとって食卓を楽しいものにし、家庭へとつながる取組) ・親同士の交流の場(自治会単位で支援) ・地域で支えるのが難しい。核家族で近所付き合いもない。スポ少、塾通いが多い。新興住宅が多い。 ・地域間で、世代間の交流の場がほしい。 ・近所の人たちの声かけ、子供会の必要性。 |
| 通学路 | <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策。 |
| 窓口 | <ul style="list-style-type: none"> ・市に相談するも、内容によって担当課が違っていたりするので不便。部局横断的な対応をしてほしい。またワンストップでの窓口が設けられないものか。 |